# とうきょう　すくわくプログラム活動報告書

| 園名 | 草花保育園 |
|---|---|
| 活動日時 | 令和7年6月18日(水) |
| クラス名(年齢) | ことり組(1歳児) |
| 年間テーマ | 自然 |

1、活動テーマ

＜テーマ＞

季節の花に触れる

・春はたんぽぽなど道端に咲く花を見つけて興味を持って観察したので、初夏の花（紫陽花）にゆっくり触れる時間を作り、引き続き楽しめたら良いと思った。

2、活動スケジュール

・様々な形や色の紫陽花を数人ずつ順番に観察したり、触れたりする

・紫陽花（ピンク、青、紫、白）
・紫陽花を入れる容器　　・机

4、探究活動の実践

＜活動内容＞

・紫陽花をじっと観察したり、保育者と一緒に手で触れて感触を楽しむ。
・小さい花をちぎってみたり、茎の部分を持ち、持ち上げてみたりする。
・顔を近づけて、紫陽花の匂いをかいでみようとする。
・紫陽花の色を言ったり、お気に入りの紫陽花を見つけて楽しむ。

＜活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり＞

| 子どもの言葉・姿 | 写真 |
|---|---|
| ・保育者が紫陽花を手に持つと、興味を持ちじっと観察をしたり、触れたりする。 | |
| ・様々な色や形の紫陽花を観察し、自分が興味を示した紫陽花に手を伸ばし、花びらに触れる。「おはな」「つめたい」など、感じたことを簡単な言葉で話す。 | |
| ・紫陽花を指差ししたり、小さい花を手でつまみ、ちぎって保育者に見せたり、手のひらに乗せて観察する。 | |
| ・茎の部分を持って紫陽花を持ち上げて、「おはなおもたい」と感じたことを保育者に伝える。 | |

5、振り返り（振り返りによって得た保育者の気づき）

・普段から戸外に遊びに行った時に草花に興味を示して手を伸ばしていたので、今回の活動を取り入れた。紫陽花に興味を示して、自分から手を伸ばして触れていたので良かった。小さい花びらが沢山あることに気づいて手でつまんでちぎったり、茎の部分を持ち上げて重さを感じている子どもがいて、様々な視点がある子ども達に驚いた。
・数人ずつ観察することで、ゆっくり観察をすることが出来たり、保育者も子ども達の気づきを丁寧に拾って共有することが出来たので良かった。